

造 林 (第 一 会 場)

杉挿穂の貯蔵について

佐賀県林務課 小谷 内 正 一

昭和27年春県管苗畑にて杉挿穂の貯蔵を実施したのでその様子を報告する。

1. 挿穂の準備

使用本数は35万本で県内のみで求めることは無理であつたので福岡県八女郡からも取寄せた。県内産は3月上旬に搬入して直ちに挿付けしたが八女郡産のは1月下旬に採取搬入して苗畑内にて約40日間貯蔵後挿付けた。尚挿付前には乾燥防止の爲一度流水浸漬をなした。

2. 埋蔵のやり方

貯蔵穂数は約20万本であるがこれは地面に穴を掘り埋蔵する所謂土圍法である。場所は苗畑中の排水最も佳良なる箇所を選定した。所要穴の広さは幅3.6m、長さ1.6m、深さ60cmで底部は中高くして周囲に滞水のなき様に暗渠を置いた。穴の内側にはヨシズを立て崩壊を防止する。貯蔵のやり方は穴の底部に生笹を薄くし其上に穂木の50本束を一層に並び其上に笹を薄くし4~5cm厚さに土をかけ第二層は第一層と元先を反対に並べる。かゝる方法で9段に積み上げたがこの時の層高は1.2mとなつた。最上部は笹と土を多少厚目に覆い又地上部に露出堆積された部分には側立のヨシズの外側から土寄せをして乾燥を予防した。

3. 所 備

(1) 貯蔵穂と県内産非貯蔵穂との別、(2) 貯蔵穂の上中下層の別、(3) 浸水非浸水石灰水浸漬穂等の活着成績は別表の通りである。

4. 貯蔵上の注意

貯蔵の際に経験した注意を上ぐれば

- (1) 穂重ねの厚さは余り厚くしないこと、特に長期貯蔵ではこのことは大切である。
- (2) 生笹よりは葉を取つた笹の方がよい。
- (3) 軟い陸葉穂などは上層に積む
- (4) 長期貯蔵の時は薄く積み文笹と土は充分に入れて圧えておくこと。
- (5) 流水浸漬のできぬ所では貯蔵穴より挿木の都度必要量だけ出すようにして穂を乾燥せしめないようにすること。

1. 産地別比較

産地	ハ女産	蕨木産	北山産
採取期(月日)	1.20 - 25	3.4 - 7	3.1 - 9
採取本数	198,000	59,500	109,000
埋藏日数	33 - 40	-	-
永浸日数	-	4 - 5	15 - 17
挿付期(月日)	3.2 - 17	3.8 - 10	3.18 - 24
挿付前の棄却歩合%	4.5	0.8	1.4
挿付本数	187,082	59,004	107,433
挿付後5月中旬に於ける枯損歩合%	11.5	15.2	28.6
棄却と枯損の合計歩合%	15.5	17.7	29.6

2. 総挿後挿付迄の
放置時間

取扱別	放置時間	枯損歩合
普通仮植	20 ^時	34 [%]
	24	52
	28	48
流水浸漬	20	7
	24	10
	28	12
石灰水浸漬	20	30
	24	37
	28	50

3. 埋藏の深さ

位置	上層	中層	下層
棄却歩合 [%]	4.2 [%]	6.1 [%]	1.9 [%]
枯損歩合	8.8	11.8	16.3
合計歩合	12.6	17.1	17.8

備考 石灰水は水1斗に対し石灰1升をとろした
枯損調査は5月20日に行う。